

第18回「風に出あう会」

～わたしのこころとあなたのこころのバリアを取り除くために～

この催しは、「誰もが“あたりまえの暮らし”ができる社会になるように、みんなのこころがさわやかな“風に出あう”ように、参加される皆さま方とのふれあいが出来ますように」と願って、毎年1回を開催し今年第18回目となりました。

今回は、公立大学法人大阪 都市科学・防災研究センター 教授の野村恭代さんをお招きしてお話しをいただく予定です。

「地域で（暮らす）活動をするということ」。“人は地域の中で暮らすことがあたりまえのこと”とされています。老若男女を問わず、こころはだれでもみんな同じです。

障害のある人も、障害のない人も、お互いに地域の中でよりそって、少しでも障害のある人への理解が進み、偏見のない社会になるように協力し合って暮らしていけますようにとの願いと目的を持って開催いたします。

日時： 令和6年11月27日（水）

14時00分～16時00分（開場13時30分～）

場所： ハートピア京都 4階 第5会議室

住所：京都市中京区烏丸丸太町下ル東側

交通：市営地下鉄 烏丸丸太町駅下車 5番出口すぐ

費用： 無料 先着順（定員50名程度）



申込み不要です。どなたでも皆さまお誘い合わせの上ご参加ください！

*会場の後方にて、作品展示・手作り小物等の販売を予定しています。どうぞお買い求めください。

お話しの時間：

一部：14時10分～15時10分（一部の後に質問の記入と休憩）

二部：15時30分～15時50分（質疑応答の時間）

お話しのテーマ：

「地域で（暮らす）活動をするということ」

“人は地域の中で暮らすことがあたりまえのこと”とされています。

どのような思いを持ちながら日々の暮らしをして行けば、人は優しくなれるのでしょうか？ とても大きな課題です。今回の「風に出あう会」で共に考える機会といたしましょう。～誰もが幸せになれるように、、、と願いながら～

主催 京都市精神保健福祉ボランティア連絡協議会 風のリンケージ

<事務局>京都市精神保健福祉ボランティア連絡協議会「風のリンケージ」係

京都市こころの健康増進センター 相談援助課内

〒604-8845 京都市中京区壬生東高田町1番地の20

TEL075-314-0355 FAX075-314-0504

この事業は京都市の委託を受けて実施いたします。

野村恭代 (のむら やすよ) さん

フ*ロ*フ*ィ*ー*ル



大阪大学大学院人間科学研究科修了。

専門社会調査士、社会福祉士、精神保健福祉士。

医療法人に勤務中、生活のしづらさのある人の住まいに対する「施設コンフリクト」を知る。

解決策が見出せないため自身で研究することに。

2018年10月からは、防災やつながりがテーマの番組「ハートフルステーション」(YES-fm, 毎週水曜日 12:15~)のパーソナリティを担当。著書に『「障害者」は私たちにとって「やっかいもの」なのか』(東信堂,2024)、『福祉防災のはなし』(技報堂出版,2022)、『地域を基盤とした福祉のしくみ』(東信堂,2022)、『地域を基盤としたソーシャルワーカー住民主体の総合相談の展開』(中央法規,2019)、『施設コンフリクト・対立から合意形成へのマネジメント』(幻冬舎/2018)などがある。

**** シルバーリボンのこと ****

シルバーリボンをご存知ですか？

シルバーリボンとは、知的・精神障害のある方への差別と偏見をなくすために、全世界共通で使われているシンボルマークです。

このキャンペーンは、米国カリフォルニア州ニューポートビーチに住む弁護士のジーン・S・リーシティ夫人が、長男が統合失調症と診断されたことがきっかけに、知的・精神障害者への偏見と差別を払拭するために始めたものです。

映画「ビューティフルマインド」で、ロン・ハワード監督がアカデミー賞の受賞式典に胸につけて登場されたことから、世界的な規模で広まるきっかけになったものです。

日本においても、精神保健福祉ボランティア活動のあらゆる場面において紹介され、拡がりを見せるようになりました。

このキャンペーンを行うことで、ひとりでも多くの人に、このリボンをつけてもらい、偏見や差別のない社会の実現を目指すことに貢献したいと考えています。

どうぞ、あなたもシルバーリボンを毎日、胸につけてください！

「第18回 風に出あう会」にて
2024年11月27日(水)

SILVER RIBBON CAMPAIGN
for the Brain
IN JAPAN

Buzz Aldrin
Tipper Gore
Ron Howard

…あなたの胸にシルバーリボン…
脳に障害がある人への偏見をなくすために、あなたにできること
(シルバーリボンキャンペーンはボランティアによる非営利活動です)

空を飛ぶ 鳥たちは
人間を
障害者と思うだろう
でも空を飛べなくたって
みんなで協力しあえば
人間って
けっこう 楽しい

空は飛びたいけれど・・・